

新ト協発第 124 号
平成 30 年 12 月 17 日

会員各位

公益社団法人 新潟県トラック協会
会長 小林 和男

トラック荷台等の安全確保について

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、報道によりますと、12月15日午前10時45分頃、埼玉県深谷市の利根川河川敷でダンプカーが橋桁の下部を通過中、橋桁が落下して車両が下敷きとなり運転手の死亡が確認されました。

警察は、ダンプカーが荷台を上げた状態で橋の下を通過した際に荷台が橋桁に接触したとみて原因を調べています。

この事故は、トラックの荷台等にかかる事故であり、下記事項に留意して交通事故、労災事故防止に努めていただきますようお願い申し上げます。

謹白

記

- 1、 ダンプカーの荷台は下げて走行すること。
- 2、 バン車の後部開閉扉は、必ず閉めて走行すること。
- 3、 平ボデー車の積載貨物は飛び出しの無いよう走行すること。

以上

橋桁が落下 ダンプの運転手死亡

12月16日 07時17分



15日午前、埼玉県深谷市の利根川にかかる通行止めの橋の一部が落下し、ダンプカーが下敷きになった事故でダンプカーを運転していた58歳の男性の死亡が確認され、警察が事故の詳しい状況を調べています。

15日午前10時半すぎ、埼玉県深谷市の利根川沿いで解体作業のため通行止めになっていた橋の橋桁の一部が長さおよそ50メートルに渡って落下し、橋の下で土砂を運ぶ作業をしていたダンプカー1台が下敷きになりました。

警察によりますとこの事故でダンプカーを運転していた栃木県日光市の野口和宏さん（58歳）が車内に閉じ込められ、およそ9時間後に消防などに救出されましたがまもなく死亡が確認されました。

落下したのは昭和9年に建設された上武大橋の歩道の一部で、ことし8月、現場近くに新しい橋が開通したあと、解体作業のため通行止めになっていました。

警察はダンプカーが荷台をあげた状態で橋の下を通過した際に荷台が橋桁に接触したことが事故の原因とみて詳しい状況を調べています。